

モグリンニュース

第4号(2005年7月)

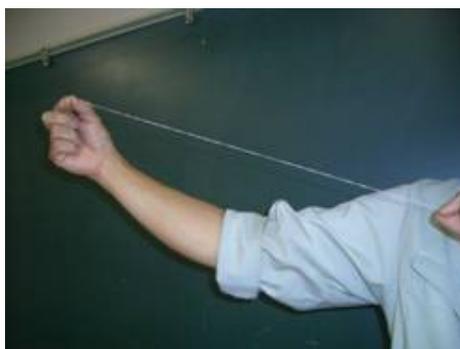
<びっくりする大雨です>

先月は「梅雨がくる前に夏がきたような暑さ・・・」と書いたのですが、舌の根も乾かないうちに土砂降りの梅雨がやってきました。「ここまで降らなくてもいいでしょう」というぐらいの雨になってしまい、7月2日の「縄文の釣り体験」1回目には大雨警報まで出てしまう始末。

しかし、慣れたもので、実は稲坂さんの関わる事業は、必ず悪天候につきまといわれるという伝説があるため、ちっとも動じない私達なのでした。2回目もやはり雨で「やっぱりか・・・」という思いでいっぱいです。しかし、3回目の7月16日は釣りに行くので是非天気になってほしいものです。

7月2日と9日のようすをお伝えします。

広島市こんちゅう館の坂本さんからカイコやミツバチなど人間の役に立つ昆虫などのお話を聞きました。クスサンが出す糸を顕微鏡で見た写真なども解説され、昆虫の不思議なメカニズムに驚くばかりでした。



糸を採っています。ケムシの解剖はなんのその！だったのですが、糸をのばしていくときは、おそろおそろでした。

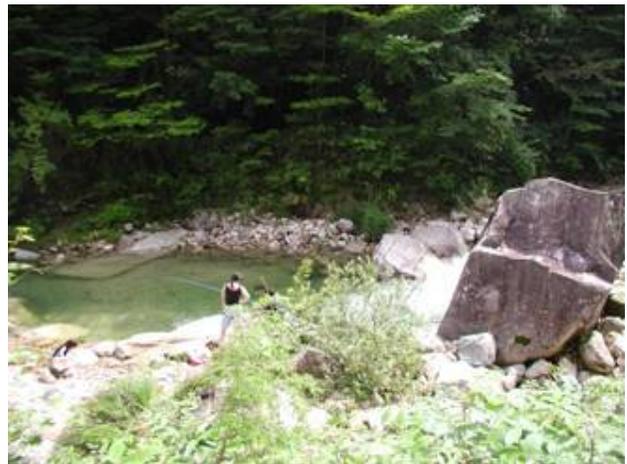
予想以上の糸の伸び具合に「こんなにのびるー！」と大喜び。クスサンによっても、糸の伸び具合や強度に違いがありました。大きいのがいいというわけではなく、繭をつく

る直前の虫がいいようです。なかなか見分けは困難ですが・・・

親子汁を楽しみにしていた方も多かったでしょうが、この日は都合により親子汁は作れませんでした。しかし、親子汁の具は食べさせてもらいました。結局、親はカイコの成虫（つまり蛾）で、子はサナギだったようです。イナゴの佃煮もあったのですが、小林的には、蛾が一番おいしかったです。サナギはチョット・・・



世の中にはいろいろな種類の蛾がいて、びっくりです。でも参加者全員、虫の解剖がまったく平気なのにもびっくりでした。



七瀬川渓流のようすです。このときは梅雨前で、水も少なかったのですが今はもっと増水していることでしょう。16日は、釣り上げた魚で、「チャンチャン焼き」（北海道で鮭を使った料理の1種）を作りその場で食べるそうです。



7月9日の釣り針作りは相変わらずの雨の中行われました。

鹿角はひたすら削って削って形を整えていきます。釣る魚にもよるでしょうが、かなり小さくしないと、魚の口にうまく刺さってくれません。広島県内でも帝釈峡の遺跡から長さが5cm近くある鹿角製の

釣り針のようなものが出土しているのですが、何を釣ったのかは不明です。

鹿角は細くなっても、なかなか折れません。その柔軟さに驚かれた方も多いのではないのでしょうか。昔の人は、鉄も電動機械もない状態で、どうやってこの鹿角を割っていたのか、とても不思議です。電動のこぎりでも、刃が折れたりするのに……



この日は最後に、16日の釣りのための仕掛け作

りをして終了でした。無事に釣りにいけるように、みなさん晴れ乞いをいたしましょう。



作った針に糸を結び付けています。

ロビー展のご案内

今、文化財課施設のロビーで「被爆 60 周年 原爆ドームから出土したものたち」というロビー展を行っています。原爆ドーム保存を考えるために、2002 年～2003 年にかけて発掘調査を実施しました。その調査で出土した、ドームの建材などを展示しています。熱をうけた銅の塊や、ドームの装飾に使われていたとおもわれるタイルなどを見ることができます。8 月 30 日まで展



示していますので、また見にきてください。



< ドーム内から出土したタイル >

8月、9月のもよおしのご案内

「掘ってびっくり 見てナットク広島城発見隊！」

8月27日(土)、および9月3日(土)に広島城と共催で、発掘調査の体験と、企画展や広島城の見学などを行います。8月27日(土)は小5～中学生、9月3日(土)は高校生以上を対象として行います。チラシを同封しますので、発掘調査ってどんなものか経験してみたいと思われる方は、ぜひお申し込みください。

連絡先 小林・稲坂・田原 まで

0 8 2 - 5 6 8 - 6 5 1 1 FAX 0 8 2 - 5 6 8 - 6 5 1 3

〒732-0052 広島市東区光町二丁目15-36

小林 n-kobaya@mogurin.or.jp 稲坂 ina@mogurin.or.jp 田原 tahara@mogurin.or.jp

文化財課ホームページ <http://www.mogurin.or.jp>